野呂 充

高等司法研究科・教授

【研究】

「納骨堂経営許可等取消訴訟—大阪高等裁判所への意見書および解題—」(阪大法学73巻3号)を公開した。納骨堂の経営等許可取消訴訟における周辺住民の原告適格を認めた最高裁判決(最判令和5年5月9日)の原審に提出した意見書を公表するとともに、訴訟のプロセス、意見書執筆時の意図および上記判決の特徴等についてコメントする解題を付したものである。

それ以外に、ジュリスト臨時増刊『重要判例解説』の行政法分野の編者を令和4年度版に続いて令和5年度版についても務めた(刊行は令和6年5月)。

【教育】

春学期および春～夏学期に法科大学院の「公法総合演習1」、「行政救済法E・F」および特殊講義A(政策実践と法)、秋～冬学期に、法科大学院の「行政法基礎」、「公法訴訟」および関西大学との連携講義(行政法発展演習)を担当した。

【管理運営】

学内委員等として、総合評価審査委員会・建設コンサルタント選定委員会委員、社会技術共創研究センター兼任教員を務めた。
部内委員等として、副研究科長(管理運営担当)、人事委員長、評価室長、法学会運営委員を務め、認証評価対応WT長として法科大学院認証評価への対応を行った。

【社会貢献】

学会、学術関係では、学術会議連携会員、日本地方自治学会理事、日本公法学会総会運営委員を務めた。
国の委員として、令和5年度国家公務員採用総合職試験専門試験(記述式)(行政、法律)試験専門委員を務めた。
地方公共団体の委員として、大阪府収用委員会会長、大阪府行政不服審査会委員(第3部会長)、大阪府景観審議会委員、大阪市個人情報保護審議会委員(第1部会長)、長岡京市都市計画審議会委員(会長代理)等を務めた。
公務員研修(山口県ひとつり財団、奈良市)や、東京弁護士会・2023年度前期弁護士研修講座「令和4年度重要判例解説(行政法)」の講師を務めた。